

2008年G8サミットNGOフォーラム 第1期 活動報告書

2008年G8サミットNGOフォーラムについて

「2008年G8サミットNGOフォーラム(以下、NGOフォーラム)」は、2008年に日本(北海道の洞爺湖)で開催予定の「主要国首脳会議」(G8サミット)に向けて結成したNGOのネットワークである。NGOフォーラムは2007年1月31日に発足し、2007年2月10日にはフォーラム設立記念シンポジウム「市民社会と政府との対話がグローバル社会を変える」を行った。

NGOフォーラムには、2007年1月31日~2007年9月17日までの第1期において101団体のNGOが参加した。参加団体は「貧困・開発」「環境」「人権・平和」の3つのユニットを通じてG8サミットに向けた提言活動及び啓発活動を行っている。第1期において、貧困・開発ユニットの参加団体は56団体、環境ユニットの参加団体は39団体、人権・平和ユニットの参加団体は31団体であった。

以下、2007年4月1日から2007年9月17日までのNGOフォーラム全体としての活動を簡単に報告する¹。

活動報告

1. ドイツへの出張

2007年6月6日~8日のハイリゲンダム・サミットの日程にあわせて1週間程度、NGOフォーラムの代表として5名がActionAid Thailandからの助成金を受けてドイツに出張した。出張したのは星野昌子(代表)、大橋正明(副代表)、大林ミカ(環境ユニットリーダー)、秦辰也(貧困・開発ユニットリーダー)、野平晋作(人権・平和ユニットリーダー/川崎哲の代理)である。なお、上記5名以外にもNGOフォーラム関係者14名がユニットあるいは所属団体を代表して出張した。出張先ではNGOフォーラム関係者が連携し、ドイツNGO関係者とのストラテジック・ミーティングやオルタナティブサミットへの参加、プレスセンターでの情報収集、記者会見を行うなどの提言活動などを行った。

2. 2008年G8サミットNGOフォーラム発足記念パーティの開催

2007年6月28日(木)午後17時~19時に、星陵会館(東京)にて、フォーラム関係者と他セクターの方の交流を目的に立食パーティを開催した。議員5名、議員秘書7名、シェルパの河野雅治氏(外務省 外務審議官)を含む政府関係者7名、助成財団や各国大使を含む他セクター関係者7名を含む88名が参加した。

3. ドイツ(ハイリゲンダム)サミット報告会の開催

2007年6月30日(土)に中央大学駿河台校舎(東京)にてドイツ(ハイリゲンダム)サミット報告会を開催した。NGOフォーラム関係者がサミットでの論点を報告し、来年のサミットに向けた活動をアピールするとともに、ドイツからユルゲン・マイヤー氏(環境と開発に関するドイツNGOフォーラム代表)、政府から鶴岡公二氏(外務省 地球規模課題審議官[大使])、及び谷津龍太郎氏(環境省 大臣官房審議官)を報告者としてお招きした。当日は、NGO、政府、国際機関、企業、労働組合、マスコミ関係者、及び一般市民など182名(関係者を含む)が参加した。

¹ 2007年1月31日~2007年3月31日までは、(特活)ほっとけない世界のまずしさの助成を受け、(特活)国際協力NGOセンターが事務局を担い、2月10日のシンポジウムや本フォーラムの組織づくりなどの活動を行った。2月10日のシンポジウム、及びNGOフォーラムの組織については以下のURLを参照のこと。

<http://www.g8ngoforum.org/>

また各ユニットの活動報告について本報告書では触れていない。

4．G8 サミット開催地（北海道）への出張

2007年7月1日（日）に札幌市環境プラザ（北海道）にて、「G8 サミット市民フォーラム北海道準備会」との共催で「北海道洞爺湖サミット開催へ向けて～ドイツサミット報告会」を開催した。NGO フォーラムからは星野昌子（代表）、鮎川ゆりか（副代表）、大橋正明（副代表）、大林ミカ（環境ユニットリーダー）がユルゲン・マイヤー氏と共に出張し、報告を行った²。当日は約80名の参加があった。

なお、「G8 サミット市民フォーラム北海道」は2007年9月21日（金）に北海道にて設立集会を行い、正式に発足する。また設立記念イベントには本フォーラムから星野昌子（代表）及び大林ミカ（環境ユニットリーダー）が出席し報告を行う予定である。

5．提言活動及びポジション・ペーパーの作成

2007年8月に日本政府に対する提言書「市民に開かれたG8 サミットの開催を求めます」を発表し、来年のG8 サミットの開催のあり方について提言を行った。

また各ユニットで作成しているポジション・ペーパーの調整を行う「ポジション・ペーパー調整委員会」を数回にわたり開催し、2007年10月14日（日）に発表予定のポジション・ペーパー（ドラフト）の作成準備を行った。

さらに来年のシビル G8 開催に向けて、シェルパの河野雅治氏（外務省 外務審議官）及び外務省関係者との打ち合わせを行った。

6．広報活動

広報活動として、パンフレットの作成（日本語及び英語）、ウェブサイトの立ち上げなどの広報活動を行った。（ウェブサイトの URL <http://www.g8ngoforum.org>）

7．国際会議&シンポジウム「2008年G8 サミットに向けて市民社会ができること」

2007年10月14日（日）に女性と仕事の未来館（東京）にて開催する予定の標記事業の準備を行った。なお本事業は国際交流基金の助成を受けて、（特活）国際協力 NGO センターとの共催で開催する予定である。

8．NGO フォーラムの運営

世話人は以下のメンバーが担当した。

【第1期世話人】

代表：星野昌子（特活）日本国際ボランティアセンター 理事・特別顧問
副代表：鮎川ゆりか（財）世界自然保護基金ジャパン 気候変動特別顧問
副代表：大橋正明（特活）国際協力 NGO センター 理事長
環境ユニットリーダー：大林ミカ（特活）環境エネルギー政策研究所 副所長
人権・平和ユニットリーダー：川崎哲 ピースボート 共同代表
貧困・開発ユニットリーダー：秦辰也（社）シャンティ国際ボランティア会 専務理事

世話人会は月に1回程度（合計8回）の会議を開催して NGO フォーラムの運営を行った。また事務局は（特活）国際協力 NGO センターが担当した。

以上

² 本事業の経費の一部は、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成による環境ユニットの資金を受けて開催。